

卒論・修論・ゼミ報告書

平成 30 年 10 月 23 日

指導教員認印

学科・専攻	情報システム工学	学籍番号	1855005	氏名	小野田成晃
題目	特許情報収集による知的財産創造のための発見的価値創造の手法の開発				

報告日までの取り組み

PDCA サイクル	設定目標 (P)	A. seq2seq の実装 B. マルチモーダル機械学習の理解 C. アンサンブル手法の理解
	取組内容 (D)	A. テストモデル作成 B. リクルート・PFN・Google の論文・発表を読む C. ネットと書籍で調査
	課題整理 (C)	A. seq2seq を理解することで系列変換の基礎的モデルは理解できたが 最新の研究ではさらに応用されているので、時間がある際はそれも追加調べたほうがいい B. CNN と RNN からなる画像キャプション生成のモデルが参考になったが特徴マップをどのようにしているかは 実際に触ってみないとわからないと感じた C. バギング・スタッキング・adaboost 等の手法があるが今回のように、弱学習器を使わない場合は バギングが良いと感じた
	改善方策 (A)	A. 今後読むべき論文をブックマークしておいた B. 西田研にその研究をしてた人がいたので論文を見せてもらった

報告日

を こと べき する より、 やりたい こと	コメント (出席者)	
	備忘録 (自分)	